

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	その人が何を求め、何をすることが最適なサービス提供に繋がるかの追究がまだまだ不十分である。	全スタッフが各利用者の情報を共有し、その人らしい生活・時間が送れるようサポートが出来るようにする。	アセスメント、ケアプランを全スタッフで再度見直しをする。個々に気付いた点を会議にて発表しサービスの深掘を図る。	3ヶ月
2	33	今後看取り介護は増えていくと思われる。現在訪問看護ステーションと契約を結びサポートを受けているが、看取り介護経験者が少なく不安を感じているスタッフがいる。	看取り介護を本人・ご家族が安心して受けられるよう事業所内で勉強会を開催し、看取り時の体制・対応を統一する。同時に法人としてスタッフへの心のケアをしていく。	外部講師等をお願いをし、看取り介護の勉強会を開催、スタッフの知識・教養を深める。	6ヶ月
3	35	大規模災害発生時のスタッフ招集基準が曖昧となっており、その際の運営基準が定まっていない。	BCPを作成する。 夜間時の対応、日中時の対応をそれぞれ決め、職員に周知する。	専門家と相談のもとBCPを作成を図る。 非常食は必要最低限のものは常時保管できるよう予算を計上する。	12ヶ月
4	13	人員体制の関係上、外部研修等の受講が十分に出来ていない状態である。	希望者を募り、研修費の負担など法人内での仕組みを構築。ゆくゆくは認知症サポート養成講座は全スタッフが受講できるように体制を整備する。	研修等の情報を事務所に掲示し、受講希望者を募る。代替スタッフ等の体制を整える。	6ヶ月
5	34	スタッフによって技術レベルの差が大きく、経験のある者や訪問看護ステーションに頼りがちである。	各自が基本的な技術は身に付け、応急手当・初期対応をきっちりとこなせるようにしていく。	契約先の訪問看護ステーションをお願いをし年数回の講習会を開催、職員のレベルアップを図る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。